



2023-2024 年度主題
 国際会長 ウルリック・ラウリドセン (デンマーク)
 “Let Your Shine”
 主 題 「輝かそう、あなたの光を」
 スローガン “Good Communication Is the Cornerstone in Every Cooperation”
 「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」
 アジア太平洋地域会長 利根川 恵子 (川越)
 主 題 “Be the light for change”
 「変革のための光となろう」
 スローガン “Shine and empower through fellowship”
 「親睦を通して、輝き、力を得よう」
 東日本区 理事 山田 公平 (宇都宮)
 主 題 “Instil Confidence in our Youth!”
 「未来のために今、学びと気づきを！
 未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」
 スローガン “Youth Empowerment through SDGs Youth Action”
 「ユースアクションをワイズの主要な活動の一つに」
 湘南・沖縄部長 黒川 勝 (金沢八景)
 「初心に帰り、新たな船出に踏み出そう」
 クラブ会長 久保 勝昭
 “良きつながりを持って” 心ひとつに「無理の無い活動を」



活 気

横浜つるみワイズメンズクラブ会長 久保 勝昭

2023年9月23日(土)横浜YMCAフェスタ～私たち会員の集い～開催。
 この中でつるみクラブ”が「うたごえ広場」を担当する事になったと
 前回のブリテンに書きました。“オープニング”には、私が一曲“ジャン
 バラヤ(C&Wソング)を唄い、観客の皆さんの手拍子で「広場」
 を盛り上げる趣向にしましたが、作戦通りに行ったかどうかは分かり
 ませんでした。私も久々の舞台でしたので少し上がっていた様で
 した。「峠の我が家」「この広い野原いっぱい」「街の灯」「見上げてごら
 ん夜の星を」を全員で歌い、20分の演奏は無事終わりましたが、雰囲気
 は良かったと終わった後に聞きました。ピアノ、また選曲も良かったと
 自負しています。



10月14日(土)第26回横浜YMCAインターナショナル・チャリティラン2023が臨港
 パーク内特設コースで行われました。お天気も良く絶好の日よりでした。昨年も私と中村さんで参加し
 ましたが“コロナ禍”が減少しつつある今回は昨年より、活気に満ち溢れていたような気がしました。
 其々が本当に一生懸命走る姿に感動致しました。



又オンラインのランにもエントリーしています。10月16日
 (月)～30日(月)まで15日間の累積歩数で競います。この
 ブリテンの記事は10月20日の朝、書いていますが書き終わったら
 今日歩きます。因みに16日～19日までの歩数を載せておきます。
 16日・8,747歩
 17日・7,202歩
 18日・16,438歩
 19日・8,991歩となっています。
 平均：10,344歩となりますが平均8,000歩はクリアーしたいと
 思っています。
 私の散歩のコースは、家が国道15号線(箱根駅伝)沿いにある
 関係でこの歩道を通常のコースとしています。
 22、23、31日はかなり歩きます！どうぞ期待！



《つるみクラブ 10月定例会》

日時：10/12(木) 16:00~18:00

場所：鶴見中央地域ケアプラザ

出席者：久保会長、渡邊副会長 久米、島田、新改、中村、野辺、日野、松井、横山、吉本

欠席者：駒井

ビジター：湘南・沖縄部 黒川 勝 部長

(八景クラブ：2023-24 部長クラブ訪問)
部会員増強事業主査：佐藤 節子 様
(厚木クラブ)

プログラム

「司会進行」 渡邊光枝 ピアノ：吉本正子

1. 開会点鐘
2. 会長挨拶
3. 黒川部長・佐藤主査ご挨拶

「報告事項」

- ・9/21(金) ボランティア・市民活動団体分科会
13:30~15:00(社協)久保、渡邊、中村出席
 - ② 各団体の活動報告
 - ② 「災害時における当事者支援」
※各団体で話し合ってから報告する。
 - ③ 「あいねっと推進フォーラム」ボランティアコーナーについて
※当日参加の可否と出展内容を報告する。
- ・9/23(土) 横浜YMCA フェスタ 10:00~14:00
出席者：久保(ギター)、吉本(ピアノ)
久米、中村

※「つるみクラブ」が担当した「歌声広場」は、大勢の人で椅子が足りなくなるほどでした。もっとやって欲しかった！と好評でした。
スタンプラリーに参加し、各部屋の体験ができ、ビンゴ大会で、つるみクラブは3枚のチケットをいただきました。
いつもの会合とは違い楽しめました。

- ・9/30(土) 北Yまつり実行委員会 出席者：松井
※：ボランティア募集(11/2・3)

「YMCA 報告」 島田所長ご挨拶

1. ちょこっと助け隊
2. 横浜 YMCA イベント・他
 - ・10/14(土) 横浜 YMCA チャリティーラン
 - ・10/29(日) 横浜鶴見ケアプラザまつり
ボランティア：久保、中村 現地8時集合
 - ・11/03(金) 北YMCA バザー
※以上の案内と出席要請があった。

【おたのしみプログラム】 うたごえ広場

(ピアノ：吉本正子 ギター：久保勝昭)

曲目：JAMBALAYA (手拍子で盛りあげる)

- ① 花は咲く ② 紅葉 ③ サントルチア ④ 希望
- ⑤ 銀座の恋の物語 ⑥ 瀬戸の花嫁
- ⑦ あの素晴らしい愛をもう一度
- ⑧ 今日の日はさようなら

「連絡事項」

- ① 北Y うたごえ広場：10/13(金) 13:30~15:20
ボランティア：久保、吉本、久米、松井
- ② 東本郷ケアプラザうたごえ広場
11/12(日) 14:00~16:00 受付 13:30 受付
ボランティア：久保、吉本、渡邊、久米、松井、中村
- ③ 生麦ケアプラザまつり (フリーマーケット実施予定)
12/11(土) 10時より(設営準備は9時より)

㊦ つるみクラブ 例会 11/9(木) 16:00~18:00

場所：横浜鶴見中央ケアプラザ・多目的ホール

㊦ 第27回湘南・沖縄部部大会(講演・部大会)

評議会 11/25(土) 14:00~18:00

場所：湘南とつか YMCA 行動

出席者：久保、渡邊、久米、

閉会点鐘 (集合写真)

《つるみクラブ事務例会》

10/07(土) 14:00~16:00

場所：神奈川県子安通「つるみクラブ事務所」

出席者：久保、渡邊、吉本、久米、中村

内容：YMCA フェスタ参加の打ち合わせ

(2023年10 データ)

在籍会員数	例会出席者数		出席率
12名	メンバー	11名	92%
	ビジター	2名	
	合計	13名	

今後の行事予定

- ・2023,11/04(土) 14:00~16:00
場所：神奈川県子安通「つるみクラブ事務所」
- ・2023/11/09(木) 16:00~18:00
「つるみクラブ 11月例会」
鶴見中央地域ケアプラザ・多目的ホール
- ・2023/11/16(木) 13:30~15:00
ボランティア・市民活動団体分科会

《つるみ臨海フェスティバル》

「鶴見大好き 私のふるさと

皆で創ろう 鶴見臨海部」をテーマとして、鶴見臨海部の、活性化、及び、ふるさと意識の醸成を考慮した、このフェスティバルは、今年も、このメイン会場の他、隣のグラウンド、さらには、反対隣の鶴見消防署入船出張所の敷地と、3カ所の会場に、85の出店ブース、17のステージ出演団体にご参加が頂けることになり、地元中学生による演奏、鶴見ふるさと音頭の踊りなど、鶴見の魅力がたくさん詰まったイベントが行われました。天気にも恵まれ大勢の人が来場されました。





～鶴見活動報告～

10月8日(日)に、4年ぶりに下二町会のさんま祭りが開催されましたので、お手伝いにスタッフ3名で行って来ました。当日は残暑もおさまり過ごしやすい気候で、青年会が中心となり、開催され約150名が参加し楽しんでいました。今回は子供向けのくじ引きを担当しました。乳幼児から高齢者まで、まさに多世代交流であり、町に活気があふれました。

メインのさんまは、350円で仕入れたものを300円で販売するなど大サービスで、大いに盛り上がりました。



(鶴見中央 YMCA 島田 徹)

～ANA 整備工場見学～

鶴見中央地域ケアプラザでは、メンズシニアの会を実施しております。この会は60歳以上男性限定で定期的に居場所作り場をつくっております。

今回は ANA 整備工場に行きました。男性の方には非常に興味のある内容の見学会でした。



整備中ジャンボの前で記念撮影

京急鶴見駅を出発し、羽田空港でバスに乗り継ぎ向かいました。目的地まで皆さんワクワクしながら遠足気分でした。工場見学はスクリーンの映像からスタートし、整備工場の説明を聞きました。その後、ガイドさんの案内で広い整備工場を見学させていただきました。

メンズシニアの会は定期的に実施しております。皆でやりたいことを企画し楽しい居場所づくりをしております。まだ来たことのない方も是非、お越しください。お待ちしております。

(鶴見中央地域ケアプラザ 横山 裕二)

🌸 ツルのひとこと 🌸

「オーディオの趣味」

前回の続きです。このお団子屋さんにはもう一つの話があります。ディタイムを終え会計をしているとその奥にオーディオが飾ってあることに気がつきました。それは 50 年くらい前にブームになった音楽のいろいろな機材です。私もその頃趣味にしていたのでとても懐かしく感じました。特にオープンリールの大きなレコーダーは当時憧れの的で、のどから手が出るほど欲しくてたまらない機材でした。その頃とても高額で（たぶん最低でも 20 万くらい）若者には購入できなかった。お店のご主人によると先代の趣味でいろいろ集めたのだそうです。他にレコードプレイヤーやオーディオアンプ、スピーカー等どれも超一流品、しかも何台も飾ってありました。とても壮観な光景で、これだけ集めるのはいろいろな意味でとても大変なことだったと思います。当時の光景が目に見えてくるようです。話を伺うと今も引き継いでご主人が手入れをしているとのこと。素晴らしいと感心しました。このお店の事は絶対忘れないでしょう。 (野辺 良一 記)



風の電話

東日本大震災の前の年、岩手県大槌町に住む S さんは、掛け替えのない大切な従兄を亡くしました。S さんは 従兄と もっといろいろお話をしたかったのにと後悔の念でいっぱいになりました。そこで、何時でも従兄とお話ができるようにと高台の自宅の庭に、電話ボックスを設置しました。電話ボックスと言うのは、町でよく見かけていたボックス型の電話ボックスで そのボックスの中に、S さんは黒いダイヤル式の電話機を置きました。S さんがボックスの中に置いた電話機には、コードは接続されていません。でも、S さんは、その電話機でお話することによって、心がだんだん癒やされ落ち着いていくのを感じました。次の年、2011 年 3 月 11 日に東日本大震災が起こりました。大槌町では沢山の人が亡くなりました。大切な人を亡くした方々は、もっといろいろお話をしたかったのにとか、もっと聞くことが沢山あったのにとか、もっと言いたいことがあったのにとか、後悔でいっぱいになりました。S さんは、それを聞いて「この電話を使って話してください。」と庭の電話ボックスを一般に開放しました。暫くすると、地元の人とは勿論のこと、日本国中から 外国から 一人で 二人で、家族で 友達などと 沢山の人が S さんの電話ボックスを訪れるようになりました。電話ボックスに来て話をしてもらっても返事はありません 話す人は 一方的に話をするだけです。しかし、帰る時には、心が癒やされて、落ち着いた気持ちになりました。どのような状況であっても後悔はつきものかもしれませんが、心の中で思っていることを このような電話（風の電話）で話してみるのには良い方法かもしれませんね。一日も早く 皆様が立ち直られますようお祈りいたします。 (日野 東亜子 記)